

阿 寺 山 山 行 記 録



八海山

駒ヶ岳

中ノ岳



林間の登りから始まる



雪原の登りへ



山頂

目的地	阿寺山	期 日	平成23年4月21日(木):快晴
山行人	笠原正雄単独	特 記	三山好展望の山。ジャバミ沢左岸尾根を登る。再びの貸切り山。

地点名	時刻	記 事
与板発	6:00	八海山スキー場への道の途中、丸山橋を渡って右折し、広堀集落へと進む。
広堀橋右岸袂	7:50 歩き出し	除雪最終地点。左岸林道に壺足とスキートレースあり、5分後カンジキを履く。
小川を越え登りに	8:30	坑道跡と思われるコンクリート構築物が一部雪から出ている。カンジキを脱ぎ、ここから林間尾根の登りに入る。落葉樹林のやや急登。
五日町を撮る	9:20	徐々に林が疎らになってくる。振り返って五日町スキー場と市街地を見る。加茂・高橋さんから電話が入る。この辺りからトレースが無くなる。
ジグに登る	9:40	急登樹林をジグを切りながら登る。
八海山を撮る	10:00	右に巻機山が見えているが、逆光ですっきりしない。左の樹林が切れ、ジャバミ沢越しに八ッ峰と入道岳を撮る。こちらは順光でくっきり見える。
メール送信不可	10:30	メール受信したが、なぜか返信出来ない。山頂まで標高差約400m付近、風も無く快晴だ。しかし、急登の連続でメゲそうになって来る。
再びカンジキ	10:35	少し傾斜が緩んで来た。カンジキを履いても10~15cm程沈む。やや重い雪でなかなか速度が上がらない。
正面は壁	10:50	右に廻り込んで登高。登り終えて休む。動物の足跡も無く、振返って自分のみのトレースを見る。
再び八海山撮影	11:30	八海山が更に良く見えて来る。右の高倉山から上がっている尾根も見えている。
一面雪の原	12:05	標高1300m付近。想定したルートより北の斜面を登っている。ここからGPSをルート画面からコンパス画面に切り替えて直接山頂を目指す。
阿寺山頂	12:40	こんもりとした山頂。手前に樹氷をまとった喬木が露出している。ピークは遮るもの無く、三山から下津川山方面までつながっている。更に巻機山だ。五日町の市街地も見下ろせる。快晴だが、風を受けると寒い、ピークから少し外れてランチ。
下山へ	pm.1:30	雪が緩んで来た。自分が蹴落とした雪が転がって大きな団子となっていく。急降下では弱層で滑る。シリセードを試みたが、股に雪を抱き込んで止まってしまう。
平坦地に下りる	2:30	コンクリート構築物の縁でぬかって転んだ。上りの時は大丈夫だったのに。
歩行終了	2:50	下山は全行程カンジキ歩行。下り2時間と見ていたが、予想以上に早かった。

17日に五日町での葬儀に参列した。お斎までしばらく時間があつたので田んぼ地に出て、八海山と巻機山を眺めた。外仕事をしていた年配女性に話しかけ、六万騎山と坂戸山を教わった。彼女は阿寺山を知らなかった。しかし、八海山の右に下った所に、平らに広がるこの山が白く輝いて見えた。それが今山行の動機である。夏道はジャバミ沢の右岸にあるが、沢の中で積雪期は入れない。そこで情報を集めこの尾根を登った。思い描いたルートで登ることが出来て満足の山行だったが、雪質と急登とで予想以上のアルバイトだった。三山の展望はまことに素晴らしい。